



何気ない日常からうまれる 絵本と紙芝居

長野 ヒデ子 (絵本作家)
長野 麻子 (東京成徳大学教授)



©童心社

東京成徳大学子ども学部公開講座 2021

オンデマンド配信講座 2021年11月1日～2022年3月31日
受講料無料・定員300名

【受講方法】 予め収録した講座の映像を、ご自宅などからインターネットにつながったパソコンやスマートフォンなどの機器で視聴していただきます。

【受講お申込み・お問い合わせ先】 exten@tsu.ac.jp
電子メールにご住所、ご氏名、お電話番号をご記入の上、お申込みください。
定員になり次第締め切らせていただきます。

主催 東京成徳大学子ども学部 東京都北区十条台1-7-13



「何気ない日常からうまれる絵本と紙芝居」講座内容

ロングセラー絵本『おかあさんがおかあさんになった日』『せとうちたいこさん』シリーズ、紙芝居『ころころじゃぼーん』など多数の絵本・紙芝居作品で知られる長野ヒデ子と長女で音楽学者・絵本研究者の長野麻子（東京成徳大学教授）が日々の生活から紡ぎ出される絵本と紙芝居の創作について語ります。鎌倉のアトリエから自作絵本の読み聞かせや紙芝居の上演を交えながら、創作にまつわる様々な話題を映像でお届けします。

赤ちゃんの言葉と絵本

長野麻子の絵本と紙芝居

長野ヒデ子の絵本～生き立ちと創作の原点～

長野ヒデ子の鎌倉の日常

長野ヒデ子の紙芝居～紙芝居とは何か？～



「すっすっはっはっ こ・きゅ・う」
童心社



「とうさんかあさん」
石風社

(映像時間90分)

長野 ヒデ子 (ながの ひでこ)

1941年愛媛県生まれ。絵本作家。1976年『とうさんかあさん』で日本の絵本賞文部大臣賞奨励賞受賞。1994年『おかあさんがおかあさんになった日』で産経児童出版文化賞。1996年『せとうちたいこさんデパートいきタイ』で日本絵本賞受賞。紙芝居の制作と普及にも力を入れ、紙芝居作品に『ころころじゃぼーん』『くわす女房』など多数ある。JBBY（日本国際児童図書評議会）理事、絵本学会理事を歴任。現在、紙芝居文化推進協議会会長。2016年右手賞受賞。2017年久留島武彦文化賞受賞。

長野 麻子 (ながの あさこ)

1972年熊本県生まれ。東京芸術大学音楽学部楽理科卒業、同大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。博士（音楽学）。大学院在学中にベルリン工科大学音楽学研究所に留学。現在、東京成徳大学子ども学部教授。現代音楽から保育・幼児教育にわたる音楽の研究と絵本の研究を行っている。著書に『子どもの育ちと保育』（共著）、長野ヒデ子との共著に絵本『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』『まんまん ぽっ！』（2021～2023ブックスタート赤ちゃん絵本）、紙芝居『すっすっはっはっ しんこきゅう』などがある。絵本学会理事。



「おかあさんがおかあさんになった日」童心社



「おつきさまひとつづつ」
童心社



「げんこつやまのたぬきさん」
のら書店



「いもむしころころ」
童心社



「せとうちたいこさん
ふじさんのぼりタイ」
童心社